基本理念

◆学ぶことで広がる、「将来の選択肢」

「思考力」、「忍耐力」、「基礎学力」、是非とも子どもたちに身につけさせたいものであります。これらを身につけさせるために学校では教科学習の時間があり、理解度を確認するためのテストがあります。勉強する目的とは、単に受験のための得点力を上げることだけではなく、同時に生きていくために必要な力を身につけることでもあります。勉強することは人間的な「成長」を意味し、逆にしないことは大きな「リスク」を伴います。学ぶべき時期により多くを学び吸収することで、子どもたちは将来の選択肢を広げ、精神的にも大きく成長していきます。もしもの時に支えてくれるは、学生時代に学んだ「知識」、「知恵」、「経験」なのです。



◆すべての土台は、「自学力」

高校生や社会人になると自主的な学習が求められます。何でも自分で目標を設定し、計画して進めていかなくてはなりません。すべて教えてもらってレールに乗るのではなく、「自ら考え」、「悩み」、「工夫」しながら学習していく姿勢が大切です。「何か与えられれば勉強する」、「宿題が出ないと勉強できない」では高い学力を身につけることはできません。指示を受けてから勉強する受け身の学習から、自発的に学ぶ意識的な学習への移行がとても重要になってきます。じっくり考え、悩み、また考え整理し、理解する、これらの作業の積み重ねが子どもたちの知力、精神力を鍛えていき、やがて大人として「自立」させていくのです。



◆「理解する学習」・「体系的な学習」

小学校で学んだ知識は中学校で活用され、高校での学習の基礎になります。それぞれの段階で習得すべきものを習得せずに進学すると、その後の学習で大きな苦労を伴います。教科学習においては、一つひとつの単元の理解が全体の理解へとつながっていきます。そのため分からない単元が出てきたら迷わずその基礎となる前段階に戻って学習することが大切です。たとえ時間はかかっても、焦ることなく自分に必要な勉強を丁寧にやり続けていくことが大事になります。思考を伴わない作業をするだけの学習から、「思考する学習」、「理解する学習」、「体系的な学習」へと変化、定着させていくことが、学力向上の第一歩になるのです。

小学生



◎ 小学生の学習　【対象】小３生～小６生

★ 前学年の復習
（例） 苦手分野を溯って復習

★ 学校進度の復習
（例） 基礎・標準・発展

★ 中学入試対策
（例） 公立一貫校、私立中対策

★知道館の「個別指導」

生徒さんひとりひとりの習熟度、学習目標に合わせて指導していきます。授業においては生徒さんの学習目標、志望校に応じて異なるテキストを使用し、「要点の説明」・「問題演習」・「解答解説」・「確認」を繰り返していきます。常時 3～4名の講師が机間巡視をしながら、個別に生徒さんの質問やご要望に対応していきます。

学習の土台は、「国語力」

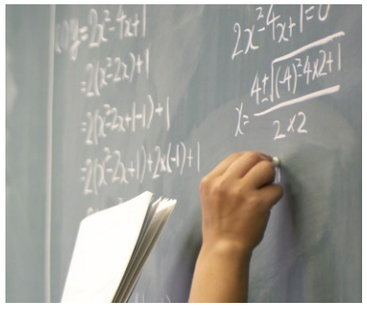
国語は大事、でもなぜ国語が大事なの？と聞かれたら案外、大人でも上手に答えることは難しいものです。また、国語は特別に勉強する必要はないのでは？と考えている方も多くいるのではないでしょうか。なぜなら、普段の生活において目にする文章はほとんどが易しい日本語だからです。しかし、国語力とは、「語彙力」、「知識力」、「論理力」、「思考力」、「表現力」などを意味します。これらの要素が欠けていると、たとえ日本語であっても何を言われているのか正しく把握できず、試験では誤答を繰り返し、会話においては誤解を生みだします。適切なコミュニケーション力、正しい解答力を身につけるためには国語力は必須です。まずは普段の読書、漢字の読み書き、適切な会話を積み重ねることで、教科学習の土台を築いていきましょう。

受講料

月　謝	（週２回）	10,000円
月　謝	（週３回）	15,000円
入塾金	（入塾月）	10,000円
年間教材費	（入塾月）	10,000円
テスト費	（実施月）	3,000円

★テストは育伸社の「学力テスト」を実施しています。

中学生



◎ 中学生の学習　【対象】中１生～中３生

★ 前学年の復習
（例） 苦手分野を溯って復習

★ 学校進度の復習
（例） 基礎・標準・発展

★ 高校入試対策
（例） 県立・私立入試対策

★知道館の「個別指導」

生徒さんひとりひとりの習熟度、学習目標に合わせて指導していきます。授業においては生徒さんの学習目標、志望校に応じて異なるテキストを使用し、「要点の説明」・「問題演習」・「解答解説」・「確認」を繰り返していきます。常時 3～4名の講師が机間巡視をしながら、個別に生徒さんの質問やご要望に対応していきます。

「県立入試情勢」と「日立地区の現状」

県立入試は定期テストと比べ難易度が高く出題範囲が広いことから、得点力を上げるためには継続した学習が必要になります。一方、茨城県、また日立地区の入試倍率を見てみると、依然として低倍率・定員割れが続いています。そのため、試験の内容は難しいが、十分に正解できなくても合格できるという現象が顕著に見受けられます。合否というものだけを考えればとても嬉しいことではありますが、高校入学後はかなり厳しい現実が待っています。高校の学習レベルは以前と変わらず、大学入試は全国規模に、戦う相手は全国の難関校の生徒たちになってきます。大学進学、特に首都圏難関大への進学を考えている生徒さんは、この現実を冷静に受け止め、先を見据えてしっかり基礎学力を高めていく必要があるでしょう。

受講料

月　謝	（週２回）	20,000円
月　謝	（週３回）	24,000円
入塾金	（入塾月）	10,000円
年間教材費	（入塾月）	12,000円
テスト費	（実施月）	3,000円

★テストは「茨城統一テスト」を実施しています。

高校生



★既卒生の方はご相談ください。

◎ 高校生の学習　【対象】高１生～高３生

★ 学校進度の復習
（例） 教科書内容の復習

★ 大学推薦入試対策
（例） 定期テスト対策

★ 大学一般入試対策
（例） 国公立・私立入試対策

★知道館の「個別指導」

生徒さんひとりひとりの習熟度、学習目標に合わせて指導していきます。授業においては生徒さんの学習目標、志望大に応じて異なるテキストを使用し、「要点の説明」・「問題演習」・「解答解説」・「確認」を繰り返していきます。常時 3～4名の講師が机間巡視をしながら、個別に生徒さんの質問やご要望に対応していきます。

「国公立大入試」と「難関私立大入試」

大学入試は全国一斉の試験です。これまでの茨城県内での競争とは異なり、全国難関校（開成、筑波大附属など）の生徒たちとの勝負になります。そのため、仮に進学校とされる水戸一高、日立一高に合格したとしても大学進学は約束されません。一般に首都圏難関校と県内公立校との学習進度の差は約１年あるとされています。茨城県内の生徒は１年遅れの段階からスタートし、その上で競争に打ち勝たなければなりません。もちろん大学は選ばなければ入ることは可能です。しかし国公立大または難関私立大を目指すのであれば、必ず首都圏の生徒たちとの競争になります。したがって、現役で難関大合格を望むのであれば、「量」・「質」・「意識」・「忍耐力」・「情報力」、すべてにおいてハードな取り組みが必要になるでしょう。

受講料

月　謝	（週２回）	20,000円
月　謝	（週３回）	24,000円
入塾金	（入塾月）	10,000円
年間教材費	（入塾月）	12,000円
テスト費		0円

★テストは、実施しておりません。

通塾システム

★原則、土日祝日はお休みになります。

◆ 通塾曜日（選択）

（月・火・水・木・金）
から 選択

◆ 通塾回数（選択）

週２回・週３回
から選択

★自習室は 16:00 から使用可能です。

◆ 学習可能時間帯

（小学生）17:00～19:00
（中学生）17:00～22:00
（高校生）17:00～22:00

◆ 指導時間

（小学生） 90分
（中学生） 120分
（高校生） 120分

★学習教科数に制限はありません。

◆ 学習教科

（英・国・数・社・理）
から 選択

◎ 各講習／特別講座

◎長期休業期間中にはそれぞれ、**『春期』・『夏期』・『冬期』講習**がございます。

◎中３生、高３生を対象に、２学期より**『入試対策土曜講座』**を開講しています。

学力テスト

●小学生のテスト

★（育伸社）全国学力テスト

4 ・ 8 ・ 1月

全国学力テストは一般用のAタイプと受験用のBタイプがあり選択できます。得点・全国偏差値・全国順位が出され、客観的な学力、自分の位置を確認できます。

●中学生のテスト

★茨城統一テスト／茨城全県模試

（中1、中2）4・6・8・10・11・1 月
（中3）　4・6・8・9・10・11・12・1 月

茨城統一テストは、茨城県立入試を想定した模擬試験です。志望校判定 4 校と茨城県内における自分の偏差値、学習理解度などが詳細に確認できます。

自習室完備

★自習室の利用

学力を高めるためには、「規則的な学習習慣」と「適切な学習量」が不可欠です。知道館では子どもたちに多くの学習機会を与え、将来の可能性を大きく広げていって欲しいと考えています。自習室は、平日の 16:00～22:00 の間で利用できます。通塾日でないときでも積極的にご活用ください。

学習サポート

★割引制度

【兄弟姉妹で通塾】
年少のお子様の受講料・講習費を**半額**とさせていただきます。

【母子・父子家庭】
受講料・講習費を**半額**とさせていただきます。

【個別の事情】
特別な諸事情がおありである場合はご相談ください。